



地方創生の取組について



湖南省きらめき・ときめき・元気創生 総合戦略 <概要>

《対象期間》

(第1期) 平成27年度(2015年度)～ 令和2年度(2020年度)の6年間

(第2期) 令和3年度(2021年度)～ 令和7年度(2025年度)の5年間

※ 第二次湖南省総合計画後期基本計画の第7章重点プロジェクトに位置付け

《策定の背景》

まち・ひと・しごと創生法(平成26年(2014年)法律第136号)制定

国民一人一人が夢や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安心して営むことができる地域社会を形成すること、地域社会を担う個性豊かで多様な人材について、確保を図ることおよび地域における魅力ある多様な就業の機会を創出することの一体的な推進を図る。



《本市の位置づけ》

○総合戦略は、本市の自主性・主体性を発揮しながら、まち・ひと・しごと創生に関する施策を総合的かつ計画的に実施する

○人口ビジョンの活用など客観的な分析に基づいて本市の課題を把握・整理し、その解消に向けて、一定のまとまりの政策分野ごとに戦略の基本目的や具体的な施策などを設定

◆取組と政策効果の考え方

急激な人口減少、少子化の進展に歯止めをかける

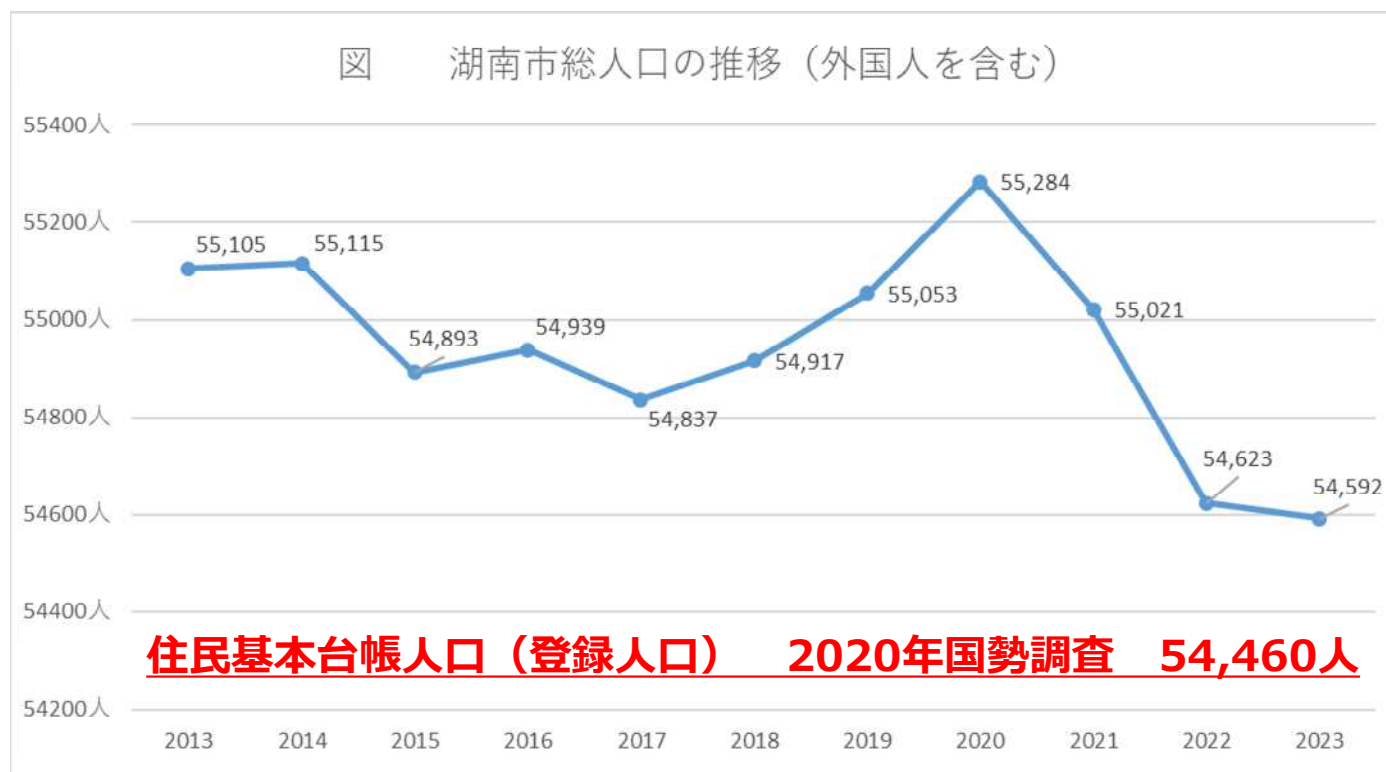
自然動態(出生数の維持)と
社会動態(転出抑制・転入促進)
への働きかけ

- ・強みのある産業の振興
- ・新産業の創出
- ・子育て支援、女性の活躍促進
- ・移住・定住の促進

めざす
政策効果

- ・合計特殊出生率は令和42年(2060年)に1.8(国民希望出生率)にまで上昇
- ・令和7年(2025年)には社会動態を均衡状態(転出と転入の差を0にする)に押し上げ

過去の人口推移（総人口）



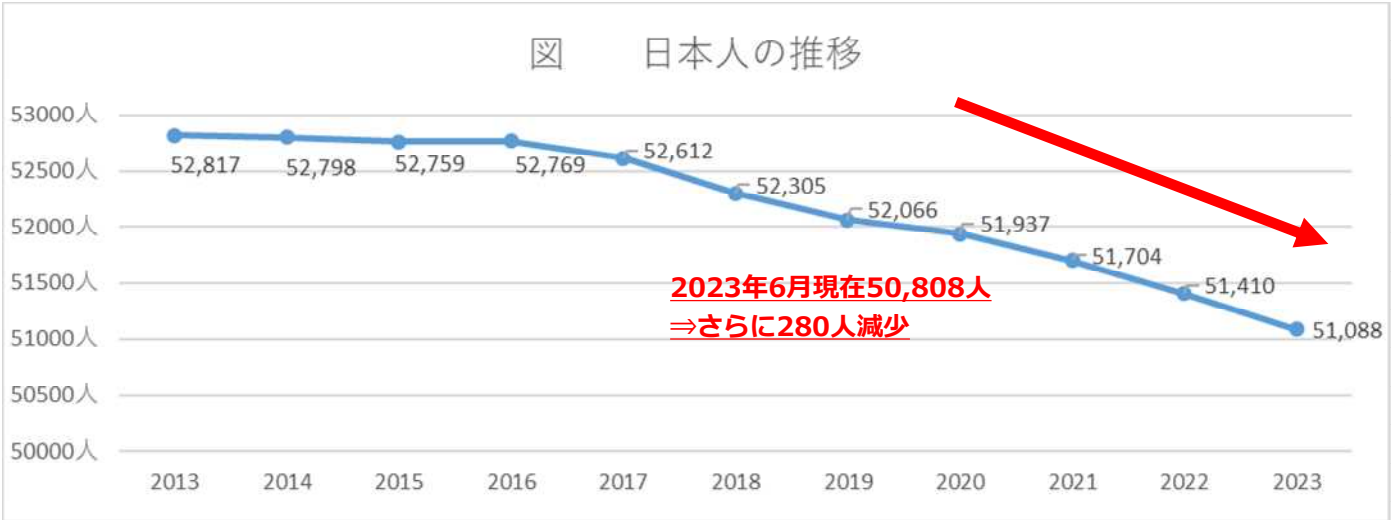
参考：県内増減率 2020年国勢調査人口確定値（実態調査人口）

（増加）滋賀県全体：0.05

湖南省：0.31 大津市：1.20 草津市：4.86 守山市4.23 栗東市3.10
野洲市：1.25 愛荘町：0.55

（減少）彦根市：△0.03 長浜市：△3.86 近江八幡市：△0.23 甲賀市：△2.80
高島市：△7.29 東近江市：△1.19 米原市：△3.86 日野町：△4.16
竜王町：△5.19 豊郷町：△3.91 甲良町：△9.62 多賀町：△1.10

過去の人口推移（日本人、外国人）





《施策の方向》 3つのプランと目標指標

人口減少へ歯止めをかけ、若々しいまちを実現するには、地域で支えあう子育て環境や暮らしやすい居住環境の実現、地域経済の活性化といった地域の活力を創生していくことが重要であると認識し、次の重点プランを今後の施策の柱と位置づけ、SDGsと関連づけながら施策を展開します。

しごと・ひとの好循環

1.働く場の創出プラン

基本的方向1「安定した雇用を創出する」

- 若い世代から高齢者まで幅広い年代の人々、また、障がい者、外国人にとって、多様で魅力的な働く場の確保
- 子育てや介護、趣味等の生活と仕事が調和する多様な働き方ができる環境づくり

2.ひとへの投資プラン

基本的方向2「新しいひとの流れをつくる」

- 積極的な情報発信による移住・定住の促進や観光による交流人口の増加、関係人口の創出

基本的方向3「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

- 結婚から妊娠・出産・子育てまで切れ目のない支援

好循環を支えるまちの活性

3.まちづくりプラン

基本的方向4「時代にあった地域づくり」

- 市民や事業者が地域づくりの主体として地域に根ざした公益事業を担うまちづくり

基本的方向5「誰もが活躍できる社会をつくる」

- 誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会づくり

基本的方向6「安心して暮らせる住環境整備」

- 助け合いが根づく地域との協働による暮らしやすいまちづくり
- 誰もが安心して快適に暮らすことができるまちづくり

総合戦略の取組状況（総括）

産業振興・働く場の確保

本市の中心産業である第2次産業のさらなる発展を目指しつつ、第1次、第3次産業振興を図る。

「農福連携」 第1次産業（+6次産業化）

「みらい公園湖南」を拠点として、高齢者、障がい者などの就農を促進するとともに、地域の特産農産物開発、6次産業化およびブランド化を支援。

「人材確保・成長ものづくり分野支援等」 第2次産業

合同面接会やセミナーを通じて、本市の強みである製造業を担う人材を確保。

企業誘致施策では、地域未来投資促進法等の各制度を活用した設備投資への税制優遇等の支援を実施。独自支援策としては、新たな立地企業等への奨励金制度で支援。

「観光」 第3次産業

湖南三山、温泉ゆらら（オートキャンプ場・トレイルラン）、VtuberMinami、猿飛佐助、アールブリュット、弥平とうがらしなど特産品等の地域の観光資源の魅力向上・発信を進める。

「健康寿命延伸」

多様な主体と連携し、食による生活習慣病の予防、ニュースポーツの啓発を行うとともに、効果的なヘルスケア事業やサブカルチャーを活用し、若者などの無関心層を取り込む。

市民主体のまちづくり・移住定住促進

市民主体のまちづくりを進め、市民の郷土への愛着を醸成し、移住定住を促進する。また、関係人口を増加させる。

「地域主体のまちづくり」

まちづくり協議会による主体的な取組みをメニュー化した交付金により支援。

福祉分野で地域で支え合うまちづくりを推進。

「SDGs 推進（エネルギー、若者まちづくり）」

SDGsの視点による自然エネルギーの地域循環事業の促進や中高生や大学生（同志社大学連携）、市若手職員を中心とした（仮称）若者まちづくり課を創設し、地域連携の深化や関係人口の受け皿など多様なキーマンとまちづくりを行う。

「移住定住促進」

ターゲットを明確にした魅力発信や移住定住促進策の検討。

空家活用ハブセンターを設立し、マッチング等による移住・定住促進。

ローカルベンチャー事業による都市部からの移住者の起業・定住を支援。

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）活用事業一覧

実施計画＜2017年度～2019年度＞

- 都市近郊のほっとするホットな観光地・こなん
- 「みらい公園湖南」を核とした農福連携・ブランド化による地域好循環実現計画
- 地域の好循環を支える市民主体のまちづくり
- 滋賀の地域社会・産業を支えるひとづくりプロジェクト（県連携）

実施計画＜2018年度～2020年度＞

- 専門家との協働による移住・定住促進計画

実施計画＜2019年度～2021年度＞

- 要因分析を活用した健康寿命延伸プロジェクト（県連携）

実施計画＜2021年度～2023年度＞（新規）

- 湖南省SDGs未来都市計画

SDGs

湖南省SDGs未来都市計画

事業概要

地域資源を活用した自然エネルギー等の導入により地域経済を活性化させることや、市民・企業のSDGsに関する取組を広めることによって、地域資源との関わりを見つめ直し、誰もが参画できるまちづくりを推進し、地域が主体となった持続可能なまちを創造します。

■ 滋賀県内自治体初

<2020年7月> SDGs未来都市認定

<2020年8月> 湖南省「ゼロカーボンシティ宣言」 2050年までにCO2排出量実質ゼロに



シュタットベルケ構想 事業

こなんウルトラパワー(株)を核とした官民連携により、公共施設のLED化等の設備更新・維持管理を進めることで、機能向上、コストの縮減と脱炭素化を両立した取組を検討。



連携協議会 設置

民・産・官・学・金との連携により設置。協議会で取組事例を共有しながら、SDGs関連事業への企業の参画を増加。



農福／林福 事業

サツマイモ栽培等にかかる農福連携の取組、イモ製品等の六次産業化検討を行うことで、障がいのある人や高齢者が社会活動に参画することを推進する。／こにゃん木の駅プロジェクトと障がい者の連携によるバイオマス燃料安定供給のため、コーディネータを育成。

R5.3月 まき割り体験実施



< SDGs若者まちづくり／教育 >

留学フェローシップ × 同志社大学政策学部

こなんSDGsカレッジ事業

学生が主体的にまちづくりへ参加できる「若者のたまり場」をつくり上げるプロジェクト。SDGsの視点によるテーマ「エネルギー」「森林」などをもとに、市内地域をフィールドに学びの場を提供。

8月：セミナー（3回）
秋頃：フィールドワーク
12月：発表



市内中学・高校 × 市内企業

地域資源教育推進 事業

SDGsに取り組む企業と連携し、市内中学生・高校生へのSDGs教育を推進する探求学習講座を通じて、将来世代を担う若者を育成。

7月～ 探求学習等
3月 フォーラム開催

